



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

第3期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について
平成29年度地域アクションプランの追加項目（案）

仁 淀 川 地 域 本 部

平成29年9月4日（月）

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 9 . 4
仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 37 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して平成 26 年 11 月にリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、平成 28 年度に産振総合補助金の活用により(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、今後はさらに衛生管理の高度化や販路拡大に取り組むこととしている。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用した新工場整備に着手するとともに、関連企業・団体と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

林業分野では、平成 28 年 4 月に完成した大型製材工場の継続的な稼働率向上を図り、製品流通の拡大に取り組むとともに、原木増産と安定確保に向け管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図ることとしている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、今後はさらなる販路拡大に取り組むこととしており、さらには水産業クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

また、観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の地域会場である紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）への更なる集客に向けて、「観光クラスター整備計画」に基づく周遊促進の取り組みや観光情報の発信をこれまで以上に幅広く、またきめ細かに実践し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 70ha<H27:55ha></p> <p>サンショウ : 80ha<H27:73ha></p> <p>ダイダイ : 30ha<H27:28ha></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H29 到達目標]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p> ミシマサイコ : 56ha</p> <p> サンショウ : 70ha</p> <p> ダイダイ : 30ha</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐)</p> <p> ミシマサイコ : 56ha → 実績 55ha</p> <p> サンショウ : 70ha → 実績 69ha</p> <p> ダイダイ : 30ha → 実績 28ha</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐) ミシマサイコ (7月末) : 49ha サンショウ (7月末) : 65 ha ダイダイ (7月末) : 27 ha ・地域おこし協力隊2名による栽培支援 (4月～) ・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査 (6回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置 (5/23) 及び試験処理 (7/3、7/26、8月予定) ・ヒューマンライフ土佐総会 (6/1) ・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)を配置 (9月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した、2年株専用品種の栽培技術確立のための支援
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)前川博之商店 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 200,000 千円 <H26 : 40,946 千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円 → 実績 41,661 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生姜加工品の販売額 (H28.10～H29.6月) : 38,164 千円 (前年同期比 123.3%) ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議 : 5回 ・HACCP 研修への参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ビジネスまるごと応援事業を活用し、パッケージ等の改良に向けた協議(生姜加工商品) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討
<p>■NO.8 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村青果(株) <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額:4.0億円<H26:3.4億円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額:4億円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.45億円 → 実績5.31億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>生姜等加工品の販売額(H28.10~H29.6月):3.86億円 (前年同期比93%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内取引農家との打合せ:12回 ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 (H28.10~H29.6月):126t(前年同期比147%) ・いの町農業クラスタープラン検討会(7/25) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続
<p>■No.9 本川きじの販路拡大(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:13,580千円<H26:4,913千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>販売額:11,800千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>販売額:11,800千円 → 実績14,692千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額(7月末):4,337千円(前年同期比102.3%)</p> <p>◇経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央会(中小企業団体)のアドバイザー制度を使い、専門家を含めた経営計画策定のWGを実施(6/7、7/20) <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで「きじコロッケ」の一般販売開始(4月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会への参加 (5/30) ・新たな通信販売会社との商談がまとまり、きじ肉の取り扱いを開始 ・県外バイヤーの視察対応 ・ドラゴン広場内フランス料理店との商談実施 (5/18) ・中央西福祉保健所による HACCP の現地確認指導実施 (5/9、7/20) <p>◇広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内 PR イベントへの参加：6 回 ・高知食 1 グランプリへの参加：9 位/46 品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の検討 ⇒専門家を含むワーキンググループによる経営計画の策定 ⇒利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ・県版 HACCP 第 2 ステージの取得 ⇒県版 HACCP 第 2 ステージ申請に係る加工場等の現地確認 (5/9、7/20) 後の改善対応に伴う支援 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ・本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化
<p>■NO. 11 日高村まるごとブランド化 (日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・J A コスモス ・(株) コスモスアグリサポート ・(株) イチネンホールディングス ・日高村商工会 ・特定非営利活動法人日高わのわ会 ・農事組合法人霧山茶業組合 ・(株) 村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連 (日高村トマト産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>農産物等の販売額：4.5 億円<H26：4.3 億円></p> <p>「オムライス街道」によるオムライス販売数：100,000 食 <H27：66,200 食></p> <p>商品・加工品開発件数：10 件 (H28～31 累計) <H27：0 件></p> <p>県外からの移住者数：10 組 (H28～31 累計) <H27：2 組></p> <p>新規就農者数：4 名 (H28～31 累計) <H27：2 名></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>農産物等の販売額：4.3 億円</p> <p>「オムライス街道」によるオムライス販売数：67,000 食</p> <p>商品・加工品開発件数：7 件 (H28～29 累計)</p> <p>県外からの移住者数：4 組 (H28～29 累計)</p> <p>新規就農者数：9 名 (H28～29 累計)</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>農産物等の販売額：4.3 億円 → 実績 4.3 億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>農産物等の販売額(6月末):170,671千円 (前年同期比100.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オムライス街道」によるオムライス販売数(5月末): 13,583食(前年同期比121.3%) ・商品・加工品開発件数(H28~H29.7月累計):5件 ・県外からの移住者数(H28~H29.7月累計):5組 ・新規就農者数(H28~H29.7月累計):8名 ・第1回日高村農業クラスタープロジェクト会(5/31) ・日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進 ・オムライス街道スタンプラリー第4弾キックオフイベント・スタート(6/12) ・長谷川アドバイザー(一般社団法人食品需給研究センター食品産業クラスターチームリーダー)との日高まるごとイタリアンプロジェクトの全体構想に関する打ち合わせ(7/14、15) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村アグリネットワークの連携強化 ⇒日高村アグリネットワーク会議の開催 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップ ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ⇒日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進による新たな商品や加工品の開発 ・雇用及び移住者の増 ⇒企業の新規参入による雇用増と『いきつけ田舎』(一時滞在住宅を整備)の取り組みによる移住促進
<p>■No.12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業体 ・素材生産業者 ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>原木生産量:12.0万m³<H26:8.0万m³> 製材工場原木利用量:5.0万m³<H26:1.7万m³></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>原木生産量:10.0万m³ 製材工場原木利用量:3.0万m³</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>原木生産量:9.0万m³ → 実績9.0万m³ 製材工場原木利用量:2.3万m³ → 実績1.7万m³</p> <p>[取組状況]</p> <p>原木生産量(6月末):2.0万m³(前年同期比102%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>製材工場原木利用量(6月末):0.6万m³(前年同期比174%)</p> <p>◇施業地の集約化及び原木生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業体等林業関係担当事者の開催(5/19) ・増産に向けた事業体への聞き取り調査(11事業体) ・仁淀川町森林管理推進協議会第1回協議(7/13) ・森林資源情報の把握をする3Dレーザー計測機の現地研修(8/3) ・中央西地区路網整備促進会議設立(6/26)及び各市町村での路網整備ワーキンググループ開催(いの町吾北1回、いの町本川1回、越知町・佐川町合同2回、仁淀川町1回) ・森林経営計画及び森の工場作成支援(越知町及び2事業体) <p>◇林業事業体、人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導(高知中央森組5回、仁淀川森組4回) ・森林組合の作業システム改善指導(現地調査 高知中央森組1回、高性能林業機械視察1回(両森組参加)、搬出技術研修1回(両森組参加)) ・増産に向けた技術指導(2森組、8事業体) <p>◇大型製材工場の稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型製材工場の進捗管理及び指導(6回) <p>◇川上・川下の需給調整体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川流域森林管理システム(国のモデル事業に採択)の構築に向け、事業計画の策定を支援(仁淀川町2回) ・仁淀川流域森林管理システムの計画・管理を行う仁淀川町、越知町、佐川町3町による「高吾北地域原木安定供給協議会」設立の打合せ(9月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施 ・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担う組織(仮称:森林管理センター)の構築と人材の確保 ⇒仁淀川森林管理推進協議会との連携による組織づくり、人材育成、森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》 ・特用林産物生産団体</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：21.0 t <H27:19.0t> マッシュルーム出荷量：22.0 t <H26:14.3t> 原木まいたけ生産量：0.6 t <H27:0.1t></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：19.5 t マッシュルーム出荷量：14.0t 原木まいたけ生産量：0.26 t</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：1t → 0t (H29 より支援地区変更) マッシュルーム出荷量：14.0t → 11.7t 原木まいたけ生産量：0.26 t → 0.1t</p> <p>[取組状況]</p> <p>マッシュルーム出荷量 (6月末)：3.8t (前年同期比 141%) <シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導に係る情報収集 (仁淀川町 3回) ・生産者への現地指導 (土佐市 3件、いの町 4件、仁淀川町 16件) <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルーム害虫防除指導 (6回) ・新たなきのこ品種 (原木きくらげ) 栽培指導 (生産組合 3回、木こり屋他 3回) <p><原木まいたけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター打合せ協議 (7回) ・原木まいたけ等栽培指導 (5回) ・先進地視察 (大分県・熊本県 6/13～15) ・イベントでの普及啓発 (氷室まつり 7/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化 <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上 ・新たな原木きくらげの安定生産 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続 <p><原木まいたけ等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5品目 (マイタケ、キクラゲ、ムキタケ、ハタケシメジ、ナメコ) の複合栽培による安定的な収益の確保 ・集荷、出荷体制の整備 ⇒森林技術センターと連携した技術指導の継続

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 <p>※地域産業クラスター関連(中央地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額:100,000千円<H26:61,550千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額:100,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>うるめ商品の販売額:78,597千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>うるめ商品の販売額(6月末):21,988千円 (前年同期比102%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一本釣りうるめ祭りの開催(5/14~5/31):18店舗参加 ・イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店10店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限12月末) ・売上向上に向けた協議:2回 ・商談会、イベントへの出展:2回 <ul style="list-style-type: none"> ➢商談件数:10件 ➢新規取引先数:3件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 ・販路拡大及び販売促進 ⇒県版HACCP第2ステージ認証のH29年度中の取得に向け、社内にHACCPチームを編成し取り組みを推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催 ・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種の一次加工処理及び加工品開発による売上確保
<p>■No. 17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承(土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すき和紙協同組合 ・高知県製紙工業会 ・いの町紙の博物館 	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額:4.8億円(機械すき4.4億円、手すき0.4億円)</p> <p><H26:4.8億円(機械すき4.4億円、手すき0.4億円)></p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体:31事業体</p> <p><H27:31事業体></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額:4.8億円 (機械すき4.4億円、手すき0.4億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体:30事業体</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達状況]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8 億円 → 実績 5.0 億円 (機械すき 4.4 億円 → 実績 4.6 億円、 手すき 0.4 億円 → 実績 0.4 億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体：30 事業体 → 実績 20 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Kami 祭実行委員会 (いの通信局チーム会) の開催：2 回 ・ 土佐和紙関係者意見交換会の開催 (いの町産業経済課、紙の博物館、土佐市未来づくり課、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部)：1 回 ・ 紙の博物館内における体験メニューの提供 (5/3～5/5、リングノートのみ 5/4～5/5) 利用者数：ちぎり絵 83 人、版画 41 人、和紙缶バッジ 48 人、貼り絵 41 人、折り紙 78 人、リングノート 30 人 ・ 土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口(紙の博物館内)の対応：3 件 ・ 紙の博物館 売店がクレジットカードに対応 (4 月～) ・ 紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具(箕、桁)の状況確認 (7/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり ⇒高知国際版画トリエンナーレ展 (10～12 月開催) の PR ・ 紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒専門的知識を持つ者による状態確認及び道具の保管台帳の作成、修繕対応可能な道具職人の有無についての確認
<p>■No. 19 いの町中心市街地の活性化 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いの町 ・ いの町商工会 <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業 ：8 事業所 (H28～31 累計) <H26：2 事業者></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2 事業所</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業：2 事業所 → 実績 0 事業所</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業(8月末):2事業所 (雑貨屋、ラーメン屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの通信局主催のイベント等協議:2回(4/21、6/2) ・いの町議会建設産経常任委員会へ中心市街地活性化構想案報告(4/21) ・高知県手すき和紙協同組合と手すき和紙職人へ中心市街地活性化構想案説明(4/21) ・金融機関を交えて中心市街地活性化構想案を協議(5/8、6/1) ・中心市街地活性化構想案について関係者間協議(6/8、6/20、7/4、8/8) <p>※中心市街地活性化構想:町有施設等を活用した土佐和紙職人の育成や宿泊及び飲食施設の整備による地元住民や移住者等の交流の場をつくり交流人口の増を図る構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き生姜焼き街道の実施を決定 ・生姜焼き街道全体会(7/24) ・生姜焼き街道と併せて町内飲食店6店舗で生姜スイーツ提供の取り組み開始(8/1~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化イベントを継続するための体制づくり ⇒地元商店街への参加の呼びかけ等により、商店街が一体となって取り組むために必要な意識を醸成 ・空き店舗の活用 ⇒空き店舗家賃補助事業の実施 ・中心市街地活性化構想案実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり ⇒中心市街地活性化構想案の実施に向けた関係各所との協議 ・生姜焼き街道・生姜スイーツの取り組みのPR・周知 ⇒イベントに付随した取り組みの検討など、観光協会等関係各所との連携によるさらなるPR・周知の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)高知アイス 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4.5 億円 < H26 : 3.75 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4.32 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>冷菓等の販売額 : 4 億円 → 実績 4.13 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>冷菓等の販売額 (1~6 月) : 219,283 千円 (前年同期比 126%)</p> <p>(内訳)</p> <p>海外(卸・催事)販売額 (1~6 月) : 18,505 千円 (前年同期比 64.9%)</p> <p>国内販売額 (1~6 月) : 186,425 千円 (前年同期比 138%)</p> <p>売店販売額 (街カフェ売上含む) (1~6 月) : 14,353 千円 (前年同期比 141%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外、海外 (台湾、ハワイ、タイ、シンガポール) での商談会、プロモーション活動 (6 月末) : 9 回 ・ 産振総合補助金の活用による生産体制及び売店施設の拡充 (5/18 交付決定、6 月着工、7/21 変更交付決定、8 月完了予定) ・ H30.2 月のスーパーマーケットトレードショーに向けたドリンクの新商品開発開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外での販路拡大 ⇒ 関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒ 香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓 ⇒ TV、新聞等での広報・宣伝活動
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大 (仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家 <p>※地域産業クラスター関連 ((株)フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(株)フードプランの販売額 : 6.4 億円 < H26:4.4 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>販売額 : 6.0 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>販売額 : 6.0 億円 → 実績 5.6 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(株)フードプランの販売額 (H28.10~H29.6 月) : 4.5 億円 (前年同期比 110%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新工場整備にかかる関係者協議の定期開催 (毎月) ・ ドレッシングの商品化に向けて、食品産業総合支援事業費補助金の活用により機器を整備 (8/8 交付決定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 (佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐川町 ・ JA コスモス ・ 地元農家 ・ 地元酪農家 ・ 佐川町商工会 ・ 地元商工業者 ・ (有)吉本乳業 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.57 億円 < H27 : 0.86 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.33 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 : 0.92 億円 → 実績 1.3 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>牛乳類商品販売額 (H28.8~29.6月) : 1.11 億円 (前年同期比 95%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催 : 4回 (4/5、5/10、7/12、8/10) ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地乳のブランド力向上 ⇒ 地乳プロジェクト推進会議の組織体制及び事業内容の再検討 ・ 地乳の販路拡大 ⇒ 四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり ・ 衛生管理体制の強化 ⇒ 県版HACCP (第3ステージ) の認証取得に向けた社内体制の構築
<p>■No. 24 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大 (越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)岡林農園 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.8 億円 < H26 : 1.4 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.95 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>岡林農園の販売額 : 1.75 億円 → 実績 1.93 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>岡林農園の販売額 (H28.9~H29.7月) : 1.99 億円 (前年同期比 108.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「フードホテルジャカルタ 2017」(インドネシア) への出展 (4/5~4/8) ・ 「グッドフード&ワインショー」(オーストラリア) への出展 (6/2~6/4) ・ オーストラリア、インドネシア等海外へのユズ果汁等の輸出を拡大 ・ 高知県産品商談会への参加 (5/30) ・ 5S 推進による体質改善 (通年)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知暮らしフェア 2017」への参加(6/25) ・「居酒屋産業展」への参加(8月予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織及び経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や5S、県版 HACCP(第3ステージ)取得の推進継続 ・人材(管理職等)の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加
<p>■No. 25 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エスエス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:90,000千円 <H26:46,760千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円 →実績66,397千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 (H28.9~H29.6月):52,063千円(前年同期比94.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)コスモ工場の竹製品製造過程で発生する竹くずを一部の商品の原料に混ぜてテスト使用(H28.9月~)し、経年変化を確認中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒OEM先のアース・ペット(株)との連携強化 ⇒原材料(オガ粉)の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保 ・OEM先の新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工場との連携体制を構築 ・原材料(オガ粉)の供給量不足への対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒オガ粉に代わる原材料として、製紙スラッジ(紙の精製過程で発生する廃棄物)の利用について検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)村の駅ひだか <p>※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販市の販売額: 200,000千円<H26: 104,382千円></p> <p>フットパス等体験観光客数: 400人<H26: 241人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>直販市の販売額: 200,000千円</p> <p>フットパス等体験観光客数: 300人</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>直販市の販売額: 200,000千円 → 実績 227,253千円</p> <p>フットパス等体験観光客数: 280人 → 実績 345人</p> <p>[取組状況]</p> <p>直販市の販売額(7月末): 82,641千円 (前年同期比 108.3%)</p> <p>フットパス等体験観光客数(7月末): 56人 (前年同期比 127.3%)</p> <p>来客者数(レジ通過)(7月末): 73,978人 (前年同期比 103.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村農業クラスタープロジェクト会(5/31) ・村の駅ひだか運営等検討会(商品・月別売上分析や取組内容の検討等)の開催: 2回 ・H26.11月オープン以来の来客者数(レジ通過)50万人達成(5/8) ・地方創生拠点整備交付金の活用による増床工事(8/1入札、8~10月工事、11月リニューアルオープン) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者(生活改善グループ)の高齢化に伴う後継者づくり ⇒観光案内所機能の充実
<p>■No. 27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数: 5,500人 <H26: 4,153人></p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数: 72,000人<H26: 65,410人></p> <p>主要観光施設の入込客数: 276,000人<H26: 216,458人></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数: 4,884人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数: 69,414人</p> <p>主要観光施設の入込客数: 250,577人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社) さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[H28 到達状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：4,500人 → 実績 4,511人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数：61,000人 → 実績 64,603人(速報値)</p> <p>主要観光施設の入込客数：270,000人 → 実績 238,983人(速報値)</p> <p>[取組状況]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数(6月末) ：1,451人(前年同期比131%)</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数(6月末速報値)：8,412人 (前年同期比52%)</p> <p>主要観光施設の入込客数(6月末速報値)：58,260人 (前年同期比100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブック、ツイッターによる情報発信 ・セールス件数(6月末)：訪問26社、商談会52社(東京、名古屋) ・物産観光PR(5月末)：1回(東京海上日動火災) ・仁淀ブルーメールマガジン配信数(6月末)：13本 ・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会の開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会、県(地域本部・地域観光課))のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会において、関係者による仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、JA、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標(H31)]</p> <p>施設来客者数:12万人<H27:0人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>施設来客数:9万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>施設来客数:7万人 → 実績6.2万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>施設来客数(6月末):32,260人(前年同期比256%)</p> <p>直販所レジ通過者数(6月末):12,415人 (前年同期比151%)</p> <p>直販所売上高(6月末):10,321千円(前年同期比170%)</p> <p>飲食店レジ通過数(6月末):7,130人(前年同期比156%)</p> <p>飲食店売上高(6月末):6,878千円(前年同期比145%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの実施(1周年祭、スイカメロンフェア、日本風景写真協会写真展、新居地区民展など) ・テナント間の連携事業実施に向け、産振アドバイザーの導入(8月～、全5回予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増加させるための仕組みづくり ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ、サイクルオアシス等)の提供 ⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催 ・観光交流施設「南風(まぜ)」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開 ⇒直販所への集荷を強化するため、越知町への出張集荷(ニンジン、ジャガイモ、卵、花卉類の苗等)を実施
<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数:25,000人<H26:15,000人></p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:5,000人<H26:4,585人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数:22,500人</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:4,200人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>上町地区への入込客数:21,250人 → 実績22,023人</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数:3,800人 → 実績4,321人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>上町地区への入込客数(6月末):7,762人 (前年同期比146%)</p> <p>上町まち歩きガイド利用者数(6月末):1,081人 (前年同期比99%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加(観光協会より1名参加) ・さかわ観光クラスター協議会の開催:2回(5/25、7/20) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛けや体験プログラムの検討等によるクラスターのさらなる推進 ⇒旧浜口邸において、佐川の素材を活かし、上町地区の風情に合った食事メニューの提供
<p>■No.35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越知町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇スノーピーク監修のアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民への説明(4/27 越知町区長連合協議会総会) ・越知町かわの駅キャンプ場条例の制定(6/13) ・観光拠点等整備事業費補助金外部審査会(7/14) ・日ノ瀬キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> ▶造成工事(フリーサイト)(10月末完成予定) ▶造成工事(宿泊棟)(9月発注予定) ▶管理棟工事(7/26 建築確認申請、9月発注予定) ・用地取得に向けた所有者との交渉 ・指定管理者公募(9月予定) ・東京大学「フィールドワークスタディ型政策協働プログラム(テーマ:キャンプ場を核とした地域活性化)」の実施(8月下旬) ・町民等への事業周知を目的に宮ノ前公園で町内の子供を中心としたアウトドア体験イベントを実施(9/23・9/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 施設における物販等ソフトの検討 ⇒流域物販に向けた事業者との調整
<p>■No. 36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)屋形船仁淀川 	<p>[目標(H31)]</p> <p>乗船者数: 4,500人 < H26: 3,261人 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>乗船者数: 6,000人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>乗船者数: 4,100人 → 実績 5,276人</p> <p>[取組状況]</p> <p>乗船者数(7月末): 2,547人(前年同期比 151.2%)</p> <p>ガイド付き乗船者数(7月末): 132人(前年同期比 69.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルに向けた検討 ・ガイド人数(7月末): 5人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの養成・増員 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設(地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中)、売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位: 千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売(いの町)</p> <p>5/19 交付決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最中アイス、ドリンクの生産体制を強化し、新規取引先の開拓や取引先の規模拡大を目指すとともに、売店テラスを改修することで来客者の満足度及び稼働率の向上を図る。 	20,957 (9,702)
<p>No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>4/27 交付決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新工場を建設することで、県内産の野菜を中心に使用したカット野菜の製造能力を上げ、増加する県内外からの取引ニーズに対応するとともに、仁淀川町の中山間地域での雇用の拡大、農業者の増加を図る。 	341,604 (100,000)

No. 22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進（仁淀川町） 4/24交付決定	・沢渡茶の販売拠点を整備し、茶をはじめとする地域の特産品等の販売拡大に取り組むことにより、地域の雇用創出及び茶生産者の所得向上を図るとともに、地域の観光拠点として交流人口の拡大を図る。	42,984 (19,908)
---	--	-----------------

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■酔鯨酒造株式会社新工場を活かした観光拠点施設活用事業

（概要）酔鯨新工場を核とした体験型交流事業を推進することにより、交流人口の拡大につなげ、観光の活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/24)
- ・越知町商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/25)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/26)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver. 2 の説明(5/31)
- ・高知銀行本店及び仁淀川流域各支店長等と地域本部との情報共有会議で取組説明（6/23）

5 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/21・6/6	食品加工	加工製品販路開拓（パッケージデザイン等）について
2	4/11	商工	食品加工施設の改修について
3	5/23	産業	機能性表示食品制度の活用に向けた取り組みについて
4	5/24・7/24	商業	ピザ販売に向けた取り組みについて
5	6/1	農業	文旦農家企業相談について
6	6/2	商工	加工食品の設備整備（削り芋封入時の窒素充てん機械導入検討）について
7	6/5	観光	観光施設の維持継続について

有望素材シート（29年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	土佐市	素材名	酔鯨酒造株式会社新工場
		関連素材	日本酒、酒米、外国人観光客
現状・課題	<p><現状> 現在土佐市では、滞在型・体験型観光の推進による交流人口の拡大に向け、観光商品等の情報発信を行うとともに、受入体制の強化及び新たな体験プログラムの造成などに土佐市商工会と連携しながら取り組んでいる。 近年では、土佐市の大きな魅力の一つである仁淀川及び太平洋を活かして、ホエールウォッチング、SUP、釣り、レンタサイクルなど、様々なアウトドアアクティビティのフィールドとしての活用も拡大しつつある。 しかしながら、こうした交流人口の拡大に向けた取り組みとして、核となる観光拠点施設や宿泊施設が少なく、高知新港に寄港するクルーズ客船やバスツアー客（1台約40人乗車）等の誘致の取り組みにも苦慮しているのが現状である。 高知市長浜において酒造業を営む酔鯨酒造株式会社は、高知県の企業立地促進事業費補助金を活用し、新たな生産拠点として土佐市甲原地区に新工場を建設中である。</p> <p><課題> ○観光客等交流人口拡大のための受入施設の確保 ○地元産業の新たな価値の確立 ○体験型施設の整備、確保 ○地域交流の場のさらなる提供</p>		
方今後の	<p>○新工場では、上級品種や地元酒米を使用した日本酒を製造するとともに、観光客をターゲットとした製造過程の見学など、酒造り体験等の体験型観光施設としての活用を検討中であり、今後に向けても酔鯨株式会社と土佐市との協議を継続し、新工場を効果的に活用した事業の実施、交流人口の拡大、地域の活性化を図る。 ・見学体験型施設（40人規模）を整備 ・酒造副産物利用による新商品の開発 ・地元産品と工場製品とのコラボレーション ・敷地内空き地の有効利用 ・地元酒米の活用による販売強化と更なる商品展開</p>		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化				
	関係市町村名	土佐市				
事業の概要	<p>酔鯨新工場を核とした体験型交流事業を推進することにより、交流人口の拡大につなげ、観光の活性化を図る。</p> <p>○メニューの提供 ・酒蔵見学 ・酒造り体験 ・限定酒の瓶詰体験 ・流域酒蔵の蔵めぐり ・限定酒と食材の組み合わせの体験</p> <p>○受入体制づくり ・大型バス駐車場の整備 ・仁淀川流域との観光分野での連携 ・見学体験棟、イベント広場等の整備</p> <p>○誘客の促進 ・イベント開催 ・敷地内空き地の植物観賞、花見等 ・社会科見学、修学旅行等の受入 ・グランピング等の実施</p>					
事業主体等	<p>【事業主体】 土佐市、酔鯨酒造株式会社</p> <p>【関係機関】</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	見学体験施設等を活用したメニューの提供	<p>・イベント・見学・体験等のメニューづくり ・事業者等の視察・研修等の受入プランづくり</p> <p>・イベント・見学・体験等のメニューの提供 ・事業者等の視察・研修等の受入 ・見学者ギャラリーのオープン</p>				
	受入体制づくり	<p>・多様な関係者等との観光客誘致のための関係構築 ・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・体験メニュー運営方法の検討</p>				
	誘客の促進	<p>・情報発信の検討 ・インバウンド対応の検討 ・副原料を利用した新商品の開発・販売</p> <p>・情報発信 ・インバウンド対応 ・副原料を利用した新商品の開発・販売 ・地場産品と酒器のセット商品の販売</p>				
指標・目標	項目（期末：月末）	事業実施【H29】	1年後【H30】	2年後【H31】	3年後【H32】	4年後【H33～】
	施設来客者数	0人	500人	2,000人	3,000人	4,000人
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】 H30年9月：醸造開始 H30年11月：仮見学スペース供用開始 H33年11月：見学体験棟、イベント広場完成 H34年2月：イベント広場等でのイベント開始</p> <p>【考え方】</p>				
総事業費等	<p>総事業費（内訳） 千円（うち29年度 千円） 国： 県： 市町村： その他：) 想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国： 県： 人的支援：</p>					
備考						

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
	見学体験施設等を活用したメニューの提供 ・イベント、見学、体験等のメニューづくり ・事業者等の視察、研修等の受入プランづくり				施設来客者数 (H28:0人)	2,000人
			・イベント、見学、体験等のメニューの提供 ・事業者等の視察、研修等の受入 ・見学者ギャラリーオープン			
	受入体制づくり ・多様な関係者等との観光客誘致のための関係構築 ・受入に必要なサービス、施設等の整備 ・体験メニュー運営方法の検討					
	誘客の促進 ・情報発信の検討 ・インバウンド対応の検討			・情報発信 ・インバウンド対応 ・地場産品と酒器のセット商品の販売		
	副原料を利用した新商品の開発・販売					